



まちの話題

TOPICS



ともだち100人 できたかな

4/28

武蔵楽交・1学期

旧武蔵東小学校グラウンドで武蔵楽交が開催されました。「ともだち100人できるかな」をテーマに書道やダンスパフォーマンス、国東えんげき工房の朗読劇などが行われました。じゃんけん列車出発進行！ゲームでは、多くの参加者がじゃんけんをしてたくさんの列をつくり盛り上がりました。

次回は7月27日(土)開催予定です。

熱中症などの 健康課題を解決

4/23

国東市と大塚製薬株式会社との包括連携協定締結式

国東市と大塚製薬株式会社が市民の熱中症対策や健康づくりの維持増進、災害時における支援などで協力する包括連携協定を締結しました。大塚製薬株式会社九州第一支店支店長の笠間泰久さんは「国東市が抱える熱中症などの健康課題を解決できるように連携して取り組む」と話していました。



市のPRのため 3人に委嘱状交付

4/15

国東市市民特派員委嘱式

市役所で国東市市民特派員委嘱式が行われ、中野副市長から委嘱状が交付されました。市民特派員は、市のPRのための公式SNSや市報に掲載する話題や心温まる出来事などを提供・取材します。

特派員は以下の3人です(敬称略)。左から中野浄昭(安岐町下山口)、今田史(国東町富来浦)、佐藤剛(国東町見地)

春の風物詩 ひじき漁解禁

4/9

ひじき漁解禁

4月上旬、国東の春の風物詩である「ひじき漁」が解禁されました。肌寒さがまだ残る天候の中、多くの漁師たちが鎌を使用しながら、岩場に自生する天然のひじきを手際よく収穫していました。市内の沿岸部では、4月下旬までひじき漁を行っている漁師の姿が数多く見られました。



元気な赤ちゃん 泣き声で競う

5/4

弥生のムラ・端午の節句

弥生のムラ・国東市歴史体験学習館で、年中行事「端午の節句」が開催されました。会場では、5年ぶりに泣き相撲や物えらび、餅ふみ・餅かるいが行われ、たくさんの赤ちゃんの健やかな成長をお祈りしました。午後からは、鯉のぼりや大かぶとづくりなどのものづくり体験も行われ、大勢の来場者で盛り上がりました。

人で悩まずに 相談してほしい

5/2

国東高校・高校生向け消費生活講座

国東高校で、生徒約450人を対象に消費トラブル防止を目的とした消費生活講座が開催されました。講師の消費生活相談員の宮本祥子さんは実際に起こった事例などを紹介しながら「まずは疑うこと。一人で悩まずに相談してほしい」と話し、大橋凧さん(2年)は「社会に出た時に今日の講座が役に立つ」と謝辞を述べました。



レトロな商店街で お買い物を楽しむ

4/20

たぶか軒先市

国東町田深商店街でたぶか軒先市が開催されました。街並みの良さの再発見と地産地消を進めようと田深商店街活性化プロジェクト推進委員会が主催し、地元食材を用いたグルメやリサイクルグッズなどの約40店舗が出店しました。来場者は、レトロな商店街でのお買い物を楽しみました。

市民の安全安心に つながる

4/18

倒木被害未然防止事業に関する協定締結式

国東市と九州電力送配電株式会社別府配電事業所が倒木被害による電線の断線などを未然に防止し市民の安全安心な暮らしを守ることを目的に、倒木被害未然防止に関する協定を締結しました。別府配電事業所長の太村祐司さんは「倒木被害を少しでも軽減できれば、市民の安全安心につながる」と話していました。

